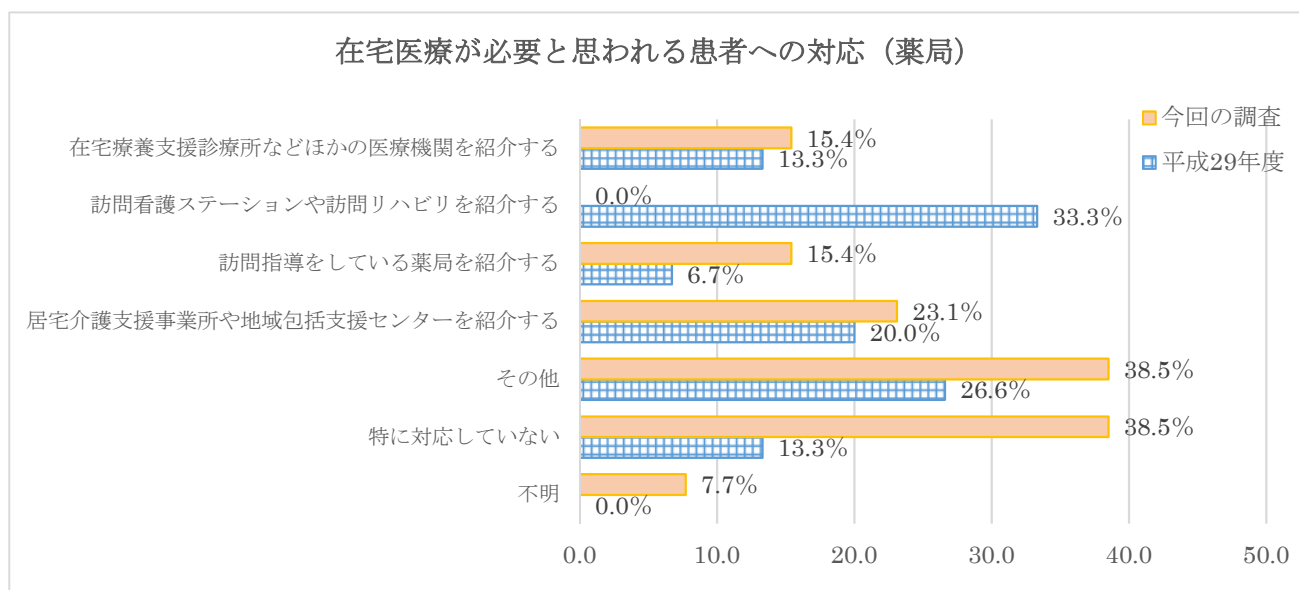




④在宅医療を進めるにあたって困難なこと（薬局）

在宅医療を進めるにあたって困難なことは、「特に困難を感じていない」が 4 事業所 40%と最も多く、次いで「薬剤師が不足している」、「在宅医療の知識を得る研修会が少ない」であった。

（単位：事業所）（複数回答）

○薬局（対象：10 事業所）		今回の調査	平成 29 年度	平成 25 年度
	薬剤師が不足している	3（30.0%）	4（80.0%）	1（33.3%）
	医師との連携が上手くいかない	1（10.0%）	0（0.00%）	0（0.00%）
	在宅医療の知識を得る研修会が少ない	2（20.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）
	設備が不足している	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）
	採算が合わない	1（10.0%）	1（20.0%）	1（33.3%）
	特に困難を感じていない	4（40.0%）		
	その他	3（30.0%）	0（0.00%）	1（33.3%）

（2）在宅医療（居宅生活）への支援について

①自宅復帰の状況（介護老人保健施設）

令和 3 年度中に、介護老人保健施設 2 事業所を退所した人は 245 人で、その内「自宅復帰」をした方は 36 人、14.7%であった。前回調査より人数では 10 人、割合で 1.2 ポイント増加したが、退所者全体に占める割合は 2 割弱であった。

(単位：人)

○介護老人保健施設（対象：2事業所）		今回の調査	平成 29 年度	平成 25 年度
	自宅復帰した人がいる	2 (100.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)
	自宅復帰した人がいない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(単位：人)

○介護老人保健施設（対象：2事業所）		今回の調査	平成 29 年度	平成 25 年度
	令和 3 年度中の退所者数（合計数）	245	192	186
	うち自宅復帰者数	36 (14.7%)	26 (13.5%)	33 (17.7%)

②自宅復帰にあたっての関係機関との連携（介護老人保健施設）

自宅復帰にあたって連携する関係機関は、「主治医（一般の診療所）」、「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」及び「訪問介護事業所（ホームヘルパー）」がそれぞれ2事業所で最も多かった。

(単位：事業所) (複数回答)

○介護老人保健施設（対象：2事業所）		今回の調査	平成 29 年度
	主治医（在宅療養支援診療所）	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	主治医（一般の診療所）	2 (20.0%)	2 (33.3%)
	緊急時に入院可能な病院や有床診療所	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	訪問看護ステーション	1 (10.0%)	0 (0.0%)
	歯科診療所	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	薬局	1 (10.0%)	0 (0.0%)
	地域包括支援センター（基幹型・委託型）	1 (10.0%)	0 (0.0%)
	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	2 (20.0%)	2 (33.3%)
	訪問介護事業所（ホームヘルパー）	2 (20.0%)	1 (16.7%)
	リハビリテーション施設・事業所	0 (0.0%)	1 (16.7%)
	他の介護老人保健施設	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	障害者相談支援事業所	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	行政機関（地域包括支援センターを除く）	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	その他	1 (10.0%)	0 (0.0%)

③自宅復帰に必要なこと（介護老人保健施設）

「家族等への、介護支援サービスの正しい理解」が2事業所 40.0%で最も多く、次いで「レスパイトケアの体制」、「ターミナルケアの体制」及び「在宅医療体制の充実」が1事業所 20.0%であった。